

大谷學報

第十卷 第三號

昭和五年九月發行

西藏佛教研究號

口繪 殿版蒙文大藏經漢字目錄

西藏佛教の由來と價值

松本文三郎 (一)

喇嘛教々理概説

寺本 婉雅 (三)

殿版蒙文大藏經考

石濱純太郎 (九)

藏傳、攝大乘論より見たる二三の問題

西尾 京雄 (九)

敦煌本瑜伽論分門記について

諏訪 義讓 (二七)

西藏譯大寶積經の研究

櫻部 文鏡 (二四)

——大寶積經成立考の一節——

安慧造中邊分別論註釋梵文
寫本の數葉について

山口 益 (一七)

「西藏大藏經甘殊爾勘同目錄」の發刊

〔石濱純太郎 (二三)
山口 益 (二六)〕

「印度佛教固有名詞辭典」について

〔美濃見順 (三三)
西尾京雄 (三四)〕

新刊紹介 (三九)。學界彙報 (一四六)。

大谷大學

大學會

大谷學會々則

第一條 本會ヲ大谷學會ト稱シ、事務所ヲ大谷大學内ニ置ク。

第二條 本會ハ佛敎學、哲學、史學、及ビ文學ニ關スル諸般ノ研究ヲナスヲ以テ目的トス。

第三條 本會ノ會員ハ大谷大學敎職員、學生及ビ本會ノ趣旨ニ賛同スル者ヲ以テ組織ス。

第四條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ。
一、年四回雜誌『大谷學報』ヲ發行シ之ヲ會員ニ頒ツ。

二、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク。

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク。

一、會長 一名
二、理事 二名
三、委員 若干名

第六條 役員ノ職責左ノ如シ。
一、會長ハ本會ヲ代表シ、委員會ヲ總理ス。

二、理事ハ會長ヲ補佐ス。

第七條 三、委員ハ庶務、編纂、會計ノ事務ヲ分擔ス役員ノ任期左ノ如シ。

一、會長ハ大谷大學々長ヲ以テ任ズ。

二、理事ハ大谷大學々部長並ニ大谷大學主事ヲ以テ任ズ。

第八條 三、委員ハ會長ノ指名トシ、任期ハ二年トス。會員ハ雜誌『大谷學報』ノ配布ヲ受ケ本會主催ノ會合ニ出席スルコトヲ得。

第九條 會員ハ會費トシテ年額金叁圓ヲ納ムベキモノトス。

第九條 本則ハ委員會ノ決議ニ依ルニアラザレバ變更スルコトヲ得ズ。

附則 一、本會ハ佛敎研究會ヲ繼承ス。

二、本會ハ本學ニ於ケル佛敎學、哲學、人文學各研究室所屬ノ研究會ヲ統合スルモノトス。

三、本則ハ昭和三年一月ヨリ實施ス。以上

大谷學會役員

會長	稻葉 昌丸
理事	稻葉 圓成 藤岡 了淳
庶務委員	磯 含雄 多屋 賴俊
編纂委員	赤沼 智善 鈴木 弘 安井 廣度
	德重 淺吉 多屋 賴俊 福井 元澄
	南出 勇曉 雨宮 尙治
會計委員	名畑 應順 岡山 操

圖版Web非公開

錄目字漢經藏大文蒙版殿

編輯後記

◆初の豫定では七月初旬に原稿を全部頂いて、八月末に發行する考であつた。處が執筆の諸氏がよく起稿せられようとする六月の初、本學に一大事變が生じた。本會の如きも自然解散の止むなきに至るのであらうと思つた事であつた。が幸にも約一ヶ月で事件は大體圓滿に解決し、本誌も續いて刊行し得る様になつた事は、本會の爲、學界の爲、喜ばしき事であつた。七月八月の酷暑の中に、諸教授は稿を進められ、原稿は得るに従つて印刷所へ廻はし、内外出版會社の努力と相俟つて、に大體豫定の期日に刊行し得る事となつた。

◆かくして本誌は六月の大事變の影響を比較的僅少にしか受けなかつたのであるが、然し會長先生の巻頭言、山口、櫻部兩氏の「歐洲に於ける西藏佛教の研究」、「日本に於ける西藏佛教の研究」西尾氏の「攝大乘論のColasay」等を預き得なかつた事は編輯者として甚だ遺憾とする處である。而して此等は何れも事變からの影響であつた。即ち山口櫻部兩氏の其は、起稿せられようとした時は、既に各大學圖書館は夏期休暇に入つて居た。此種の研究は豊富なる藏書家と雖も、個人の書齋に於いては到底爲し難い事である。會長先生及び西尾氏の其は、事變の爲に、時日を得られなかつた爲で、これ亦止むを得ない事であつた。此點讀者諸賢の諒解を希ふ次第である。

◆願れば、昨年鈴木大拙教授の「Zen Buddhism」が出、今春、同教授の「Studies in the Lankavatara-sutra」赤沼教授の「赤沼目録」が出た。而して最近、更に赤沼教授の「印度佛教固有名詞辭典」と本學圖書館から「甘殊爾勘同目錄」が時を同じくして其第一冊が刊行せられた。これ實に學界の慶事であり、本學の誇である。而して本誌の前途亦洋々たるものあるを感ずる事である。(八月卅日、多屋)

大谷學報

四年發行

一月・四月・七月・十月

昭和五年九月五日印刷
昭和五年九月十日發行

(第十一卷・第三號)
本號特價壹圓廿錢

不許複製轉載

廣告料

表紙裏	普通頁	普通頁
參拾圓	貳拾圓	拾貳圓
拾七圓	拾圓	拾圓

會費
定一部賣
普通號 金參圓(但前金送料共)
普通號 金壹圓(送料六錢)
特輯號 隨宜申し受ク(送料六錢)

發行所
大谷學會

右代表者

大谷學會
藤岡了淳

印刷者
須磨兵衛

印刷所
大谷大學出版部

京都市北小路新町西入
京都市烏丸頭大谷大學内

發行所

京都市烏丸頭
大谷大學内

大谷學會

電話西陣一六四〇番
振替大阪四四九七番

次 號 豫 告 (十月刊)

眞宗學の印現説について

大須賀秀道

漢文解釋に就きて

湯淺廉孫

維新改革の指導精神

徳重淺吉

——神武創業の發現につきて——

寂念不動の世界

春日良應

瑜伽哲學に於ける citta の概念

龍山章眞

和讃と今様との關係

多屋頼俊

第十一卷總目錄。學界彙報。新刊紹介等。

前 號 目 次 (五月刊)

漢藏對照百字論及び譯註

山口 益

米國加州の天主教

橋川 正

古代支那に於ける家族關係の一面について

浦川源吾

新出の韻鏡舊註

龜田次郎

カントに於ける物自體

大友芳雄

松本文三郎先生著作年表(石崎)。「Loktyata」に關する研究」正誤表(龍山)。昭和五年度學部開講學科目及講義題目。昭和五年度研究科入學者氏名並に研究題目。昭和四年度學部卒業者氏名並に卒業論文題目。同專門部卒業者氏名。新刊紹介。